

**雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備  
基本構想策定業務委託に係る公募型プロポーザルについて**

以下に記載する内容を「実施要領」にまとめ、7月6日（月）に公告（発注）します。  
その後事業者からの参加表明により、プロポーザルを実施。提案内容を具体的にプレゼンテーションを経て審査し、受託候補者を特定いただく流れとなります。

**1. 業務委託名**

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託

**2. 業務委託概要**

**(1) 業務概要**

「資料5－2」のとおり

**(2) 履行期間**

契約締結の翌日から令和4年3月15日まで

（令和2（2020）年度～令和3（2021）年度の2か年度）

**(3) 提案上限額**

11,880,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

＊年度別内訳については、次の範囲内とする。

令和2(2020)年度上限額：5,610,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

令和3(2021)年度上限額：6,270,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

**3. 公募型プロポーザル参加資格要件**

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。（地方公共団体が実施する一般競争入札の参加者資格を満たすこと）
- (2) 組合構成市町（雲南市、飯南町）のいずれか、又は奥出雲町の令和2年度の入札参加資格者名簿に登録されていること。
- (3) 組合から指名停止措置を受けていないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2項に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）でないこと。
- (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者を経営に関与させていないこと。
- (6) 破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続中の事業者でないこと。

- (7) 民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続中又は会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続中の事業者ではないこと。
- (8) 建設コンサルタント登録規程（昭和 52 年建設省告示第 717 号）による建設コンサルタントの「廃棄物部門」の登録を受けていること。
- (9) 当該年度を含む過去 10 年間に於いて、地方公共団体が発注した一般廃棄物処理施設整備に係る基本構想又は基本計画等の作成業務の受注実績があること。
- (10) その他、法令等に違反していないこと又は違反する恐れがないこと。

#### 4. スケジュール

表 1 実施スケジュール

No.	項 目	日 程
1	公告	令和 2 年 7 月 6 日（月）
2	実施要領等の配布期間	公告日から 7 月 14 日（火）まで
3	参加表明書等の受付期間	同上
4	質問書受付期間	同上
5	一次審査（参加資格確認）	7 月 16 日（木）
6	参加資格確認通知兼参加要請	7 月 17 日（金）
7	質問書に対する回答	7 月 21 日（火）
8	提案意思確認書と提案書の受付期限	7 月 27 日（月）から 8 月 6 日（木）まで
9	二次審査（プレゼンテーション）の実施	8 月 26 日（水）
10	受託候補者の特定	9 月上旬予定
11	評価結果通知	9 月上旬予定
12	契約締結	9 月中旬予定

\*新型コロナウイルス感染症予防対策等により、上記日程や二次審査の方法等を急ぎょ変更する場合があります。

#### 5. 参加申込の手続き

##### (1) 実施要領等の配布

ア 令和 2 年 7 月 6 日（月）～令和 2 年 7 月 14 日（火）まで  
（9:00～17:00（土日祝日を除く））

##### (2) 質問の受付及び回答等

ア 受付期間

令和2年7月6日（月）9:00～令和2年7月14日（火）17:00 まで

イ 回答日

令和2年7月21日（火）

(3) 参加表明書等の提出

ア 受付期間

令和2年7月6日（月）～令和2年7月14日（火）

（9:00～17:00（土日祝日を除く））

イ 提出書類

㊦公募型プロポーザル参加表明書（様式第2号）

㊧会社概要調書（様式第3号）

㊨業務実績調書（様式第4号）

㊩管理技術者業務実績等調書（様式第5号）

6. 公募型プロポーザル参加資格の確認及び一次審査

まず、事務局で参加資格の確認を行います。次に、参加申込者が4者以上ある場合は、事務局で一次審査（表2に掲げる審査項目及び審査内容について審査）を行い、上位3者以内をプロポーザルの参加者として選定します。したがって、8月26日開催予定のプレゼンテーションは最大3者となります。

\*参加表明が3者以内の場合は、一次審査は行いません。

表2 一次審査の評価項目と配点

審査項目		審査内容	配点
業務実績等	会社概要	・技術士数の多寡、支店・営業所等の所在地等（事務局との遠近等。）	5
	業務実績	・過去年間の業務実績。（同種・類似業務の多寡。）	5
	管理技術者業務実績等	・業務に必要な資格の保有数、個人業務実績（経験）、個人手持ち業務の多寡。	5
合 計			15

7. 提案書類及び参考見積書の作成・提出

参加者は、次のとおり、提案書類及び参考見積書を提出します。

(1) 提案書類

ア 提案意思確認書（様式第8号）

イ 提案書表紙（様式第9号）

ウ 業務実施方針（様式第10号）

- エ 業務実施体制・手法（様式第 11 号）  
 オ 業務実施スケジュール（様式第 12 号）  
 カ 業務に関する提案（様式第 13 号）

番号	テーマの名称
①	次期施設整備方針案（コンセプト）
②	雲南圏域のごみ排出量の将来見込み
③	次期施設の基本的構想
④	雲南圏域における施設建設立地特性
⑤	雲南圏域における用地選定手法の検討
⑥	集約に向けた移行体制の検討、集約化後の施設の活用策等
⑦	次期施設建設に向けたスケジュール、事業運営方式、財源計画等
⑧	独自提案

(2) 参考見積書（様式第14号）

p.1 に記載の提案上限額の範囲内で、必要額の見積書と令和 2 年度、令和 3 年度それぞれの年度別内訳を添付していただきます。

(3) 提案書類及び参考見積書の提出

令和 2 年7月27日（月）～令和 2 年8月 6 日（木）まで  
 （9:00～17:00まで（土日祝日を除く））

## 8. 提案書類の審査（二次審査）

(1) 審査項目、審査内容及び配点

参加者は、別表「二次審査の基準」のうち、「企画提案」の審査項目についてプレゼンテーションを実施。これに対し、「雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定委託公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）」は、別表のテーマごとに審査し、評価点を決定します。なお、「業務実績等」及び「参考見積書」の審査項目は、別途、事務局において、書類に基づき評価します。

(2) プレゼンテーション日時及び場所

令和 2 年 8 月26日（水）、雲南市掛合交流センター（雲南市掛合町掛合 2151-1 TEL0854-62-0189）

※プレゼンテーションの時間は参加表明者数によって変動。

(3) 出席者（提案者側の説明者）

提案者それぞれ 3 名以内

(4) 実施方法

ア まず、説明者より30分程度の説明を実施。その後、10分程度の質疑応答。（全体で40分以内）

イ 説明は、提案書に基づき実施。新たな内容の資料提示は認めません。また、模型等の持ち込みもできません。

ウ 説明は、パワーポイントの使用を認めます。

エ プレゼンテーション及びヒアリングは、参加者の独自のノウハウに関する提案が含まれることが想定されることから、非公開とします。ただし、事務局職員は例外とします。

9. 受託候補者の特定

(1) 受託候補者の特定方法

ア 選定委員会での二次審査及び参考見積書の評価結果に基づき、最も評価点の高い参加者を受託候補者として特定していただきます。

イ 最も評価の高い参加者が2者以上あるときは、企画提案に係る点数が高い参加者を受託候補者として特定していただきます。

ウ 最も高い評価点を獲得した場合でも、企画提案の得点が38点（合計76点の50％）に満たなかった場合は失格とし、次点の者を受託候補者として特定していただきます。

エ 評価点が同点の場合は、選定委員会で協議・検討し、受託候補者を特定していただきます。

(2) 参加者が1者の場合の取扱い

参加者が1者のみの場合であっても、同様に当該1者を審査し、選定委員会において受託候補者としての適否を審査していただきます。審査に当たっては、前項ウの規定を考慮するものとします。

(3) 評価結果の通知及び公表

評価結果は、速やかに参加者に通知（様式第15号）するとともに、組合ホームページにおいて公表します。

10. 契約の締結

(1) 契約に際し、仕様書の内容は提案された内容を基本としますが、組合との協議により必要な修正を行うことができます。

(2) 仕様書の内容が確定したのち、見積合わせを行い、契約額を決定します。

(3) 交渉の結果、受託候補者との契約に至らなかった場合は、次点の者と交渉を行

います。

- (4) 委託契約締結後において、失格事項又は不正と認められる行為が判明した場合は、契約の解除ができるものとします。

別表 二次審査の基準

二次審査の基準

審査項目		主な審査内容	配点	様式
業務実績等	会社概要	・技術士数の多寡、支店・営業所等の所在地等（事務局との遠近等。）	5	第3号
	業務実績	・過去年間の業務実績。（同種・類似業務の多寡。）	5	第4号
	管理技術者業務実績等	・業務に必要な資格の保有数、個人業務実績（経験）、個人手持ち業務の多寡。	5	第5号
企画提案	業務実施方針	・業務の目的及び業務内容がどれほど理解されているのか。 ・業務実施にあたっての基本的な考え方。	10	第10号
	業務実施体制・手法	・業務遂行のため、十分な人員配置や組織体制であるのか。 ・その手法は妥当なものであるのか。	10	第11号
	業務実施スケジュール	・業務実施スケジュールは、業務内容を十分理解した具体的かつ適切なものとなっているか。	8	第12号
	業務に関する提案	・（P.4 参照）「業務に関する提案」で掲げた各テーマについての認識度や理解度について。 ・各テーマの実施方法・手順に具体性があるか。 ・各テーマの提案内容については、実現性・実用性があるか。 ・提案に創造性や工夫が感じられるか。 *テーマは8項目あり、それぞれ審査を行う。	40	第13号
	プレゼンテーション	・業務に対する意欲が感じられるか。 ・説明は分かりやすいか。 ・専門知識・技術力の豊かさが感じられ、提案内容に説得力があるか。 ・質問に対する応答は的確、迅速、丁寧さがあるか。	8	
参考見積書		・適正価格（提案上限価格との差等）	9	第14号
合計			100	

\*一次審査を行わない場合は、「業務実績等」の審査は、二次審査で書類審査する。

\*一次審査を行った場合の「業務実績等」の得点は、二次審査に継承する。

\*審査は全ての項目において、A評価からE評価の5段階で行い、採点は上記表の配点に下記の率を乗じて算出する。（小数点以下第1位四捨五入）

A評価 配点×1.0 優れている

B評価 配点×0.75 やや優れている

C評価 配点×0.5 ふつう

D評価 配点×0.25 やや劣る

E評価 配点×0.0 劣る